

ピックアップ FAMIC (独立行政法人農林水産省安全技術センター)

さいたま本部 規格調査部 規格調査課



アグリビジネス創出フェア2024
FAMICブースでは、標準化に関する
ご相談を受け付けました。

日本の農林水産・食品分野の「強み」をアピールする、JAS制定を支える

農林水産・食品分野の国家規格「JAS」

農林水産・食品分野において、農林水産大臣が定める国家規格であるJAS(日本農林規格)。3ページでは、食品の品質や生産方法を定めたJASをご紹介します。ほかにも農作物の栽培や輸送の管理方法、レストランでの料理の提供方法、特定の成分などの試験方法や用語など、様々なJASがあります。

提案者に寄り添い、JAS制定をサポート

JASを活用することで、農林水産品や食品の優れた品質や、こだわりの生産方法など、それぞれの「強み」を、よりわかりやすく消費者に伝えることができます。JASは、生産者や事業者などの提案によって作ることができます。現在、たくさんの新しいJASを作るための検討や、既にあるJASをよりよく改正するための検討が行われています。

規格調査課は、このJASの制定や改正のサポートを行っています。特に、JASの制定までには様々な課題をクリアする必要がありますが、数年がかかる場合も少なくありません。この間、目的達成のために、どのような内容のJASとするかなどを提案者と共に考え、二人三脚で検討をサポートしています。



JAS オンラインセミナー

より多くの方にJAS制度を知っていただき、活用いただくために、FAMICが毎年開催しています。

(写真は、令和6年度第1回「ルールメイキングにJASを！～国際標準化まで見据えた標準化戦略～」の一場面)

▶アーカイブ動画はこちらからご覧いただけます。
(YouTube FAMIC JASチャンネル)



令和6年度 JAS オンラインセミナー

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLN4SMZ1x-wqliT1OjWfXjBQ4ooKlspT2t>

FAMICによるJAS提案者サポート



JAS提案の事前相談

提案者の意向を聞き取り、どのようなJASとするとよいかなどをアドバイス



JAS化プロジェクトチームでの検討のサポート

チームの編成や、話し合いのポイントなどについてアドバイス



農林水産省

農林水産省へのJAS申出などのサポート

JAS案などの提出書類作成や、農林水産省での審議のために必要な対応をサポート

FAMICの規格制定などのサポート体制

FAMICさいたま本部規格調査部は、規格調査課、試験規格調査課、国際規格調査課の3課で構成されています。規格調査課が制定などをサポートするJASのうち、特定の品質(例えば、食品の食塩分)などの試験方法をJASに定める場合は、試験規格調査課と連携して対応します。また、JASの制定のみではなく、ISO(International Organization for Standardization: 国際標準化機構)に提案し、国際規格とすることも目指している場合は、国際規格調査課と連携して対応します。

各地域の規格検査課(全国6カ所)も、さいたま本部と連携しながら、JAS制定などのサポート業務を行っています。



JASの制定や改正などの検討にあたっては、JASの内容がよりよいものとなるよう、ご意見・要望などを関係者の方に伺います。



FAMICのサポートがJAS制定につながった事例 ～ 障害者が生産行程に携わった食品及び 観賞用の植物 (JAS 0010) ～

障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組み「農福連携(ノウフク)」を後押しすることを目的として、2019(平成31)年に制定されたJASです。通称ノウフクJASと呼ばれ、障害者が携わって生産した生鮮食品及び、これらを原材料とした加工食品の生産方法や表示の基準が定められています。

制定後、JASの認証を取得した事業者からは、「JASによりノウフクが普及したことで、商談の機会や出荷量が増加し、障害者の賃金向上などにもつながった。」との声がありました。

2024(令和6)年の改正では、花き生産に取り組む事業者からの要望に応え、ノウフクJASの対象に「観賞用の植物」が加わりました。今後、ますますの活用が期待されます。

制定をサポートした職員の声

ノウフクJASを検討し始めた当初は、モノの品質ではなく、事業者の取り組みを定めたJASの事例がありませんでした。このため、どのような事項をルール化していけばよいのか、とても悩みました。

プロジェクトチームで検討していくなかで、意見が対立してしまうこともありましたが、メンバーで知恵を出し合い、一つ一つ乗り越えていきました。

JASが制定されたときには、サポートしてきたJAS提案者から感謝の言葉もいただき、大きな喜びを感じました。

Comment



戦略的なJAS案作成のために

規格調査課では、農林水産・食品分野における我が国の強みのアピールにつながる、戦略的なJAS案の作成を目標としています。専門的な知見を有するスタッフが、JAS提案者に対して積極的にサポートを行っています。

(規格調査部 規格調査課長)